

日本道徳科教育学会第8回大会 開催案内（第2次）

日本道徳科教育学会 会長 吉本 恒幸

清秋の候、皆様におかれましてはますますご健勝のことと存じます。

今夏の全国的な猛暑は暦の上での秋を迎えても治まることなく、また、台風や豪雨により各地に深刻な被害をもたらしました。各学校においては教育活動の推進にご苦労されたことと拝察します。こうした状況の中にあっても、各学校では、道徳科を要とした道徳教育の推進に尽力されておりますこと、敬意を表する次第です。

本学会の研究活動は、学校の道徳教育、とりわけ道徳科の授業の充実に寄与することができるよう尽力してまいりました。

つきましては、以下のように令和6年度の研究会（第8回）を開催いたします。今回は道徳科の授業参観も予定しています。ご参加の程、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

記

【大会テーマ設定の趣旨】

平成27（2015）年3月27日に学校教育法施行規則が改正され、「道徳」を「特別の教科である道徳」と改め、改正小学校学習指導要領は、同年4月1日から移行措置としてその一部又は全部を実施することが可能となり、小学校は平成30（2018）年4月1日から、中学校は翌年4月1日から全面实施となりました。

文部科学省は、全面实施からそれぞれ4年目、3年目の令和3（2021）年度に、全国の小・中学校における道徳科を要とした道徳教育の取組状況や課題を把握することで、今後の道徳教育のさらなる改善、充実に必要な知見を得ることを目的として道徳教育実施状況調査を実施しました。その結果、道徳科の授業の量的確保の面で確実に定着が進んだものの、学習指導要領に明記された道徳科で行うべき学習の確実な実施など質的転換の面は課題があり、不断の授業改善が求められました。

そこで、本学会では、児童生徒一人一人が、ねらいに含まれる一定の道徳的価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己のまた人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、内面的資質としての道徳性を主体的に養っていくといった道徳科の特質を具体的な授業実践から明らかにすべく、研究協議を深めることとしました。

記

- 1 日 時 令和6年12月7日（土）9：15～17：00
- 2 会 場 東京都台東区立台東育英小学校（瀬下 清 校長）
〒111-0053 東京都台東区浅草橋2丁目26番8号
（JR総武線浅草橋駅西口2より徒歩5分、都営浅草線浅草橋駅A4出口より徒歩8分）
- 3 主 催 日本道徳科教育学会
後 援 文部科学省 東京都教育委員会
- 4 参加費 会員・一般 : 2000円 学生 : 無料 （事前申し込みが必要になります。）
- 5 大会の主な日程 (8:45～ 9:15 受付)

9:15～10:30

授業公開（全学年で道徳科の授業を参観いただけます。）

10:35～10:50

開会行事

進 行 朝倉諭美子(元東京都教職員研修センター)

日本道徳科教育学会 会長挨拶 吉本 恒幸(聖徳大学)

会場校挨拶

瀬下 清(東京都台東区立台東育英小学校長)

来賓紹介・挨拶

10:50～10:55 大会趣旨説明・日程案内 大原 龍一(明星大学)

11:00～12:10 基調講演

道徳科の特質を生かした授業構想

文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官

国立教育政策研究所研究開発部教育課程研究センター教育課程調査官

堀 田 竜 次 先生

12:10～13:00 昼食・休憩

12:10～13:00 理 事 会

13:00～15:00 自由研究発表

第1分科会

運営 飯島 英世(元帝京大学)

13:00～13:40 小学校中学年における授業実践研究

富樫 莉恵子(東京都杉並区立八成小学校)

13:40～14:20 道徳科授業における「問い返し」の分類

中村 健太(東京都新宿区立西戸山小学校)

14:20～15:00 自分らしさを考える～すべての子供が将来への希望を持って、自ら伸び育つために～

伊藤 育美(東京都大田区立小池小学校)

第2分科会

運営 高橋 妃彩子(元玉川大学)

13:00～13:40 小学校高学年における「伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」の授業実践

安村 侑記(東京都世田谷区立松丘小学校)

13:40～14:20 小学校高学年における『よりよい学校生活、集団生活の充実』の授業実践

坂田 勇(東京都世田谷区立砧南小学校)

14:20～15:00 明確な指導観に基づく道徳科授業の実践と考察

佐伯 純(東京都八王子市立横山第二小学校)

p. 2 科会

運営 赤堀 博行(帝京大学)

13:00～13:40 明確な指導観を基に子供が主体的に学び合う道徳授業

小島 嘉之(埼玉県上尾市立大石北小学校)

13:40～14:20 子どものおたずねを軸にした道徳科授業～子どもの学び方の変化～
由良 健一(兵庫県尼崎市立わかば西小学校)

第4分科会

運営 大原 龍一(明星大学)

13:00～13:40 校内で道徳教育を推進していくための取組
佐藤 友也(東京都江戸川区立中小岩小学校)

13:40～14:20 通常の学級に在籍する支援を要する子供を視野に入れた道徳科授業のあり方
吉本 恒幸(聖徳大学)

15:10～16:50 シンポジウム

「道徳科の特質を再考する」

児童生徒一人一人が、ねらいに含まれる一定の道徳的価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己のまた人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、内面的資質としての道徳性を主体的に養っていくといった道徳科の特質を確実に生かすことが、児童生徒の道徳性を養うことにつながります。また、道徳科は学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の要としての役割も担っています。しかし、昨今の道徳科の授業においては、ともすると奇をてらった指導方法の工夫に終始して、道徳科の特質とは程遠い指導も散見されます。

そこで、道徳科の特質を生かした授業の充実を図るために、道徳科の授業実践者、教育課程の管理者、教員養成を担う学識経験者、それぞれの立場から、道徳科の本質を生かす授業の在り方について考え合い、学校における道徳科の授業改善に資することを目指します。

高橋 晶子(東京都渋谷区立鳩森小学校 指導教諭)

表迫 信行(東京都新宿区立戸塚第一小学校 校長)

染谷 由之(聖徳大学 大学院 教職研究科 教授)

針谷 玲子(白百合女子大人間総合学部 教授 :コーディネーター)

堀田 竜次(文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官:コメンテーター)

16:50～17:10

閉会行事

進行 朝倉諭美子(元東京都教職員研修センター)
閉会挨拶 大原 龍一(明星大学)
次年度予告

会場案内図 (東京都台東区立台東育英小学校)



JR 総武線浅草橋駅西口 2 より徒歩 5 分、都営浅草線 A4 出口より徒歩 8 分

右のQRコードからお申込みください。または、下記の内容をEメールでお送りください。

| | |
|---------|----------|
| (ふりがな) | |
| 氏名 | (会員・会員外) |
| 所属 | |
| メールアドレス | |
| 電話番号 | |



Eメール 送信先: akabori@main.teikyo-u.ac.jp

※ 申込書送信の件名は始めに【道徳科8】を付してください。

【事務局】 学会ホームページ: <https://www.doutokuka-kg.com>
 日本道徳科教育学会事務局 帝京大学 八王子キャンパス 赤堀研究室
 〒192-0395 東京都八王子市大塚 359
 iMail: akabori@main.teikyo-u.ac.jp